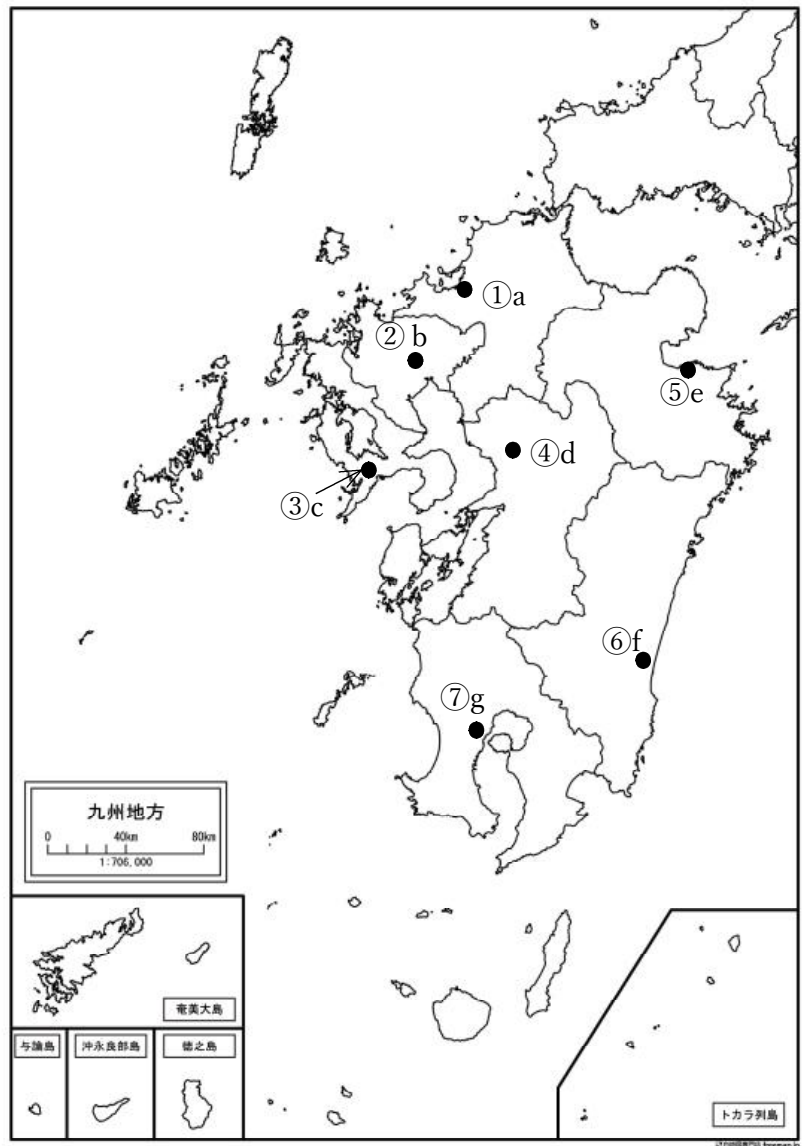


◎右の地図中の①～⑦の県名と a～g の県庁所在地名を書きましょう。

解答欄

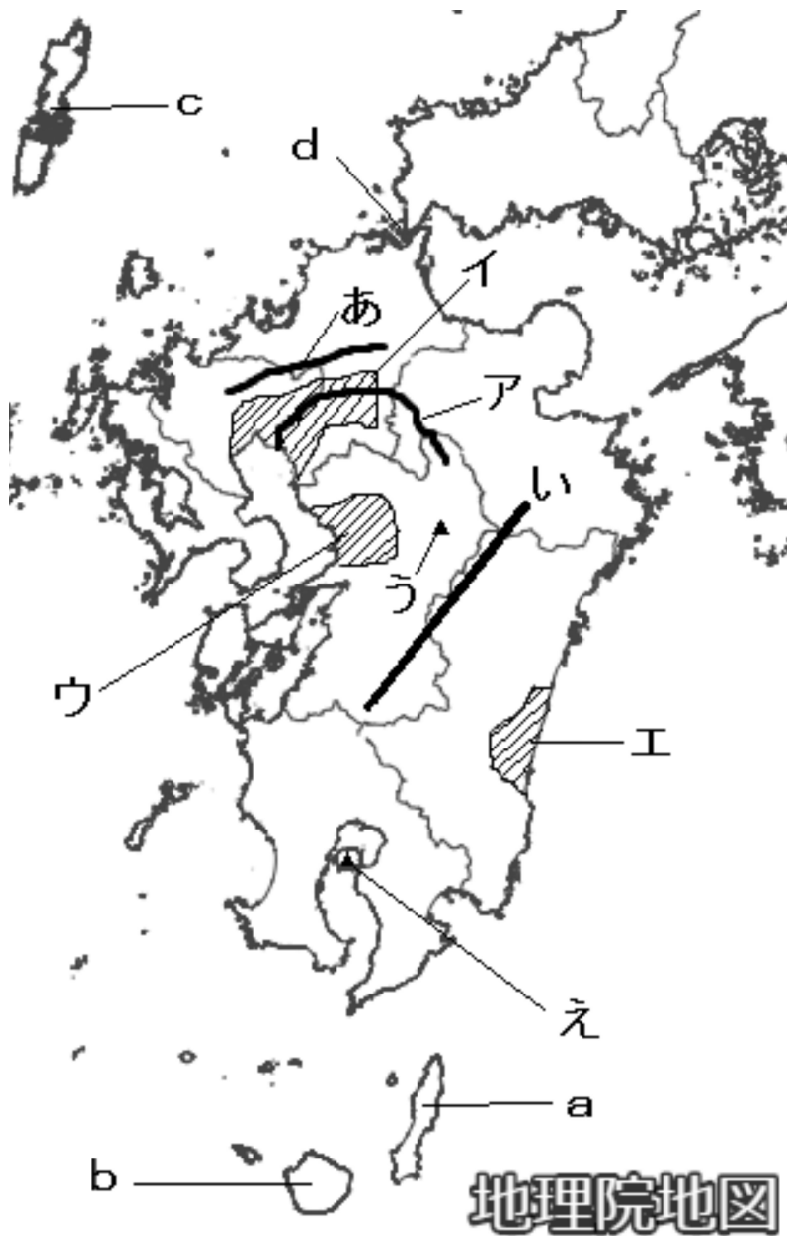
①	
a	
②	
b	
③	
c	
④	
d	
⑤	
e	
⑥	
f	
⑦	
g	



◎ 下の地図中の山地・山脈, 川・平野, 島・海峡の名称を書きましょう。

解答欄

(1) 山地・山脈名	
あ	
い	
う	
え	
(2) 川・平野名	
ア	
イ	
ウ	
エ	
(3) 島・海峡名	
a	
b	
c	
d	海峡



地理院地図 (電子国土Web) を加工して作成

◎ 九州地方について、答えましょう。

(1) 下の①～⑤の説明とかかわりのある事柄を、下の□から選び、記号で答えましょう。

- ① 1986年に本格的な調査が始まった弥生時代の代表的な環濠集落である。
- ② 江戸幕府により「鎖国」と呼ばれる外交政策がとられていた時代に、オランダとの貿易が行われていた。
- ③ 宇宙センターなどの宇宙関連施設が多く、日本の宇宙開発の一翼を担っている。
- ④ 1901年、北九州に日本初の官営製鉄所が建設された。
- ⑤ 化学工場が八代海に流した工場の廃液によりひき起こされた公害病で、多くの人々が犠牲となった。

ア 石垣島	イ イタイイタイ病	ウ 出島	エ 三内丸山遺跡
オ 八幡製鉄所	カ 吉野ヶ里遺跡	キ 志賀島	ク 種子島
ケ 水俣病	コ 水島製鉄所		

(2) 宮崎平野では、冬でも暖かな気候を生かした野菜づくりを行っています。ビニールハウスなどの温室や温床を利用して、作物の生育を早めるので、旬の時期をずらした時期に出荷することができます。このような栽培方法を何というでしょう。

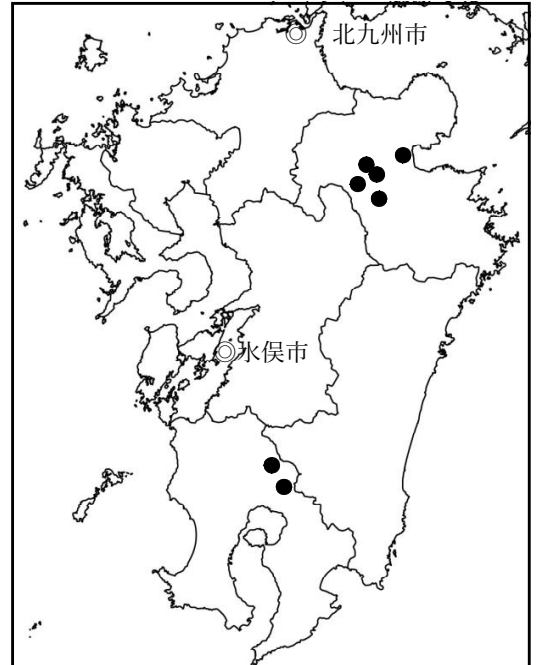
解答欄

(1)	①		②		③		④		⑤	
(2)										

(1) 九州地方の自然環境や環境対策について、次の問いに答えましょう。

① 右の地図中の●は、火山を利用した発電所の分布を示しています。このような火山の力を利用した発電を何というでしょう。

② 地図中の北九州市や水俣市は、かつては鉄鋼業や化学工業が盛んな市で大気汚染や排水による水質汚濁などの公害が発生しましたが、現在は廃棄物を、新たに他の産業の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすることを目指す環境にやさしいまちづくりが進められています。このような取り組みを何といいますか。



(2) 次の文章は沖縄県の観光開発について述べたものです。ア～オの空欄にあてはまる適当な言葉を、a～gから選んで記号で答えましょう。

日本の(ア)の多くは沖縄県にあります。暖かくきれいな海水により発達した(ア)は島を守るとともに多くの観光客を引きつける(イ)となり、観光産業が発展しました。

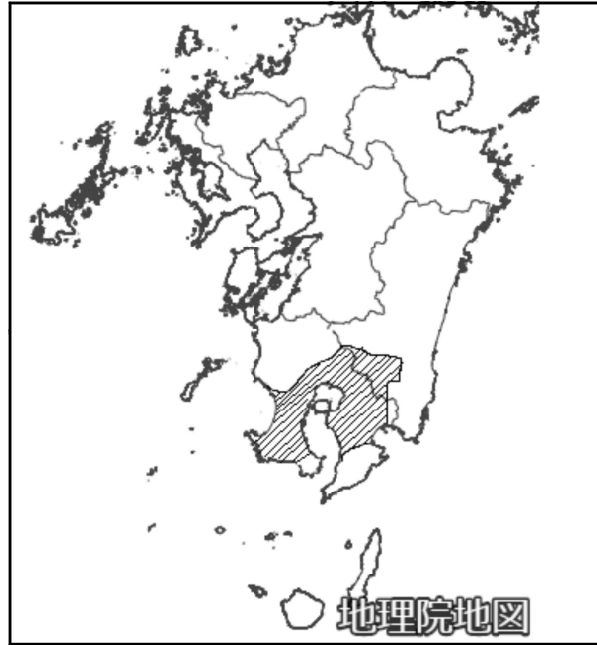
観光産業の発展にともない、道路の建設や(ウ)の開発が行われ(エ)が削られ、海に流失して(ア)を破壊する原因となりました。現在は(ア)を守りながら(イ)としても引き続き活用していくため(オ)の取り組みが行われています。

- | | | |
|--------|--------|----------|
| a 観光資源 | b 環境保全 | c マングローブ |
| d サンゴ礁 | e 赤土 | f 鉄道 |
| | | g リゾート |

解答欄

(1)	①	発電	②	事業
(2)	ア	イ	ウ	エ
				オ

(1) 下の地図内における斜線部分の地域について答えましょう。



地理院地図 (電子国土Web) を加工して作成

- ① 九州南部に広がる過去の大規模な噴出物が厚く積り、地層として広がっている台地を何と
いうでしょう。
- ② 栄養分が少なく水もたくわえにくく稲作に適さないこの地域で盛んな産業は、畑作物と何
でしょう。

(2) この地域の災害に対する取り組みとして () に当てはまる言葉を書きましょう。

この地域では、台風や梅雨前線の影響で雨が続くと斜面が崩れやすく、流れ出した土砂や木が川をせき止め、それが一気に流れ下ることで (ア) が起こり、下流に被害をあたえることもあります。そのため河川の上流に土砂の流出を防ぐための (イ) を建設して被害を防いでいます。また、適切な樹木の量を保つための (ウ) や、(エ) を行なうことで山林を計画的に整備し、森が水をたくわえる力を高める取り組みも行なわれています。

解答欄

(1)	①	台地	②	
(2)	ア	イ	ウ	エ

地理2 第1章 日本の様々な地域 (2) 日本の諸地域 (九州地方) ①

- 【解答】 ① 福岡県 a 福岡市 ② 佐賀県 b 佐賀市 ③ 長崎県 c 長崎市
④ 熊本県 d 熊本市 ⑤ 大分県 e 大分市 ⑥ 宮崎県 f 宮崎市
⑦ 鹿児島県 g 鹿児島市

地理2 第1章 日本の様々な地域 (2) 日本の諸地域 (九州地方) ②

- 【解答】 (1) あ 筑紫山地 い 九州山地 う 阿蘇山 え 桜島
(2) ア 筑後川 イ 筑紫平野 ウ 熊本平野 エ 宮崎平野
(3) a 種子島 b 屋久島 c 対馬 d 関門(海峡)

地理2 第1章 日本の様々な地域 (2) 日本の諸地域 (九州地方) ③

- 【解答】 (1) ① カ ② ウ ③ ク ④ オ ⑤ ケ
(2) 促成栽培

地理2 第1章 日本の様々な地域 (2) 日本の諸地域 (九州地方) ④

- 【解答】 (1) ①地熱(発電)
④エコタウン
(2) (ア) d (イ) a (ウ) g (エ) e (オ) b

【解説】 ○ 「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること(ゼロ・エミッション)」を目指し、資源循環型社会の構築を図る事業のことを、エコタウン事業といいます。

地理2 第1章 日本の様々な地域 (2) 日本の諸地域 (九州地方) ⑤

- 【解答】 (1) ①シラス台地 ②畜産業
(2) ア 土石流 イ 砂防ダム ウ 間伐 エ 植林

【解説】 ○ 笠野原台地は、大正時代まで不毛の土地でしたが、1959年からダムを建設し、台地に水を引く事業により、水稲や野菜、茶、草花などの生産が増加し、現在は九州を代表する畑作地帯となっています。また、飼料作物の栽培も可能になり、このシラス台地の地域は、牛、豚、若鶏を生産する日本有数の畜産地域となりました。

地理2 第1章 日本の様々な地域 (2) 日本の諸地域 (九州地方) ⑥

【解答】 開発と環境保全を両立させ、豊かなくらしができるまちをつくるためには、**持続可能な社会づくり**を基礎としながら、**環境と共生し、伝統的な生活・文化**を大切にしまちづくりを進める。(87字)

【解説】 ○ 開発と環境保全を両立させる考えの基礎は、持続可能な社会づくりにあります。また、豊かなくらしには、伝統的な生活・文化をたいせつにした生活が基盤になると考えます。

地理2 第1章 日本の様々な地域 (2) 日本の諸地域 (九州地方) ⑦

【解答】 八幡製鉄所は、筑豊炭田の石炭を使い鉄を生産していたが、**エネルギー革命**により、石炭の需要が減り、炭鉱は閉山した。現在は、炭鉱あとを工場や大学用地にするなどの地域を再興する取り組みが行われている。(96字)

【解説】 ○ 福岡県には、かつて田川、飯塚、直方を中心とする筑豊炭田や、大牟田を中心とする三池炭田など日本最大級の炭田地域がありましたが、1960年代からのエネルギー源が石炭から石油へと転換するエネルギー革命により、炭鉱はすべて閉山となりました。現在、この北九州地域は鉄の生産が少なくなり、ICや精密機械、自動車工業などの機械工業の割合が高くなっています。

地理2 第1章 日本の様々な地域 (2) 日本の諸地域 (九州地方) ⑧

【解答】 『**沖縄の例**』

沖縄県は、貴重なさんごしょうが豊富にみられる。さんごしょうは多くの生物の住みかであり、ダイビングの場所として人気がある。また、豊かな漁場であり、激しい波から海辺を守る役割も果たしている。石垣島には、アオサンゴの群落があり、西表島には、この島にしか生息しないイリオモテヤマネコがいる。豊かな自然と共存してきた沖縄地域の産業、歴史、文化を観光する計画を立てる。(176字)

『**屋久島の例**』

屋久島は、島の中央に標高約2000mの宮之浦岳がそびえ、標高により熱帯性から冷帯性の植物がしげっている。この島にしか生息しない動植物が確認されている。1993年、世界遺産に登録され、縄文すぎと呼ばれる樹齢推定7200年のすぎの木が島のシンボルとなっている。このような国の特別天然記念物「屋久島スギ原始林」におおわれた島の特徴をいかした観光を計画する。(175字)

【解説】 ○ 貴重な自然環境をいかして地域の自然等をゆっくりと楽しみながら観光する、エコツーリズムといわれるような観光の計画が考えられます。

